

# GIS A NEWS LETTER

## 地理情報システム学会ニューズレター 第121号

発行日 ● 2022年3月25日  
発行 ● 一般社団法人 地理情報システム学会

### 目次

コロナ禍がもたらした影と光	1p
2022年度 GISA学会賞募集	1p
広報委員会からのお知らせ	2p
GIS資格認定協会からののお知らせ	2p

編集担当からのお知らせ	3p
学会からののお知らせ	3p
学会後援行事のお知らせ	4p
事務局からののお知らせ	4p

### 【コロナ禍がもたらした影と光】

【会長 大佛俊泰】

本学会の会長に就任した2020年5月から、間もなく2年になろうとしています。この間、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が猛威を振るい、多くの学会関連行事が中止や延期、または、開催方法の変更を余儀なくされるなど、終始翻弄され続けた2年間でした。学会活動を支援・運営してゆく立場としては、非常に歯がゆく、残念な思いをしたことが数多くありました。

ですが、その一方では、オンライン・ミーティングの強みを活かして、また、会員の皆様による工夫やご協力によって、以前にも増して活性化されたイベントや取り組みも多く、たいへん励まされました。特に、秋の研究発表大会では、コロナ禍による制約だけではなく、コロナ禍がもたらした「可能性」も同時に垣間見えた気がします。

研究発表大会は本学会における最も重要なイベントのひとつですが、2年連続のオンライン開催となりました。初めての本格的なオンライン開催となった昨年度は、「ピンチをチャンスに変える！」を合言葉として、大会参加費を無料にすることで、非会員の方々にも広く公開してGISの魅力を発信し、関心を寄せて頂くことに挑みました。その結果、聴講登録者数は合計528名（非会員349名）に上り、例年の約2倍の参加者数（過去最多）を記録しました。まさに、オンライン開催の強みを活かした研究発表大会となりました。全国大会ならではのface-to-faceの懇談や、懇親会での人的ネットワーク形成に関しては実開催が圧倒的に優れていますが、限られた時間・予算・労力のもとで、多くの研究・活動報告に触れることのできる点に関しては、オンライン開催に備わるメリットが実感されました。コロナ禍が収束した後においても、オンライン開催の手軽さと機動性の高さについては各種イベントや研究会にうまく取り入れ、学会活動の活性化を図っていただければと思います。

今年度は、本学会が設立30周年を迎えたことも、忘れられない大きな出来事でした。井上委員長をはじめ大会実行委員会の方々、事務局の方々にご尽力頂き、設立30周年記念大会を成功裏に終えることができました。学会設立当初から本学会に深く関わってきたひとりとして、たいへん感慨深い秋の全国大会となりました。設立30周年という節目にあたり「地理情報システム学会に寄せる三つの思い」をGIS-理論と応用



インタビュー（Youtube チャンネル）映像より

（Vol. 29, No. 2）に寄稿させて頂きましたので、ご高覧いただけましたら幸いです。

新型コロナウイルス感染症の一刻も早い収束を願ってやみません。会員の皆様におかれましては、このような時期だからこそ、工夫を凝らして学会活動の活性化を推進して頂き、本学会の魅力を積極的に発信して頂けることを切に願っております。会長の任期は残すところわずかとなりました。皆様から頂戴したご支援とご協力に深く感謝申し上げます。また、厳副会長、山本事務局長をはじめ理事会構成員の皆様、地方支部、分科会、委員会、事務局の皆様のご尽力なくしては、この困難な時期に対応することはできませんでした。心より御礼申し上げます。

### 【2022年度 GISA 学会賞募集】

【学会賞委員会委員長 奥貫 圭一】

2022年度地理情報システム学会賞6部門の募集を行います。学会賞各部門の対象者および提出物の内容、受賞者選考・決定方法等は、以下のホームページでご確認ください。

<https://gisa-japan.org/awards/guideline.html>

募集部門：

「研究奨励部門」（本年3月末日時点で35歳以下の者）

「学術論文部門」

「ソフトウェア・データ部門」

「教育部門」  
「実践部門」  
「著作部門」

応募期限：2022 年 7 月 15 日（金）

提出先：地理情報システム学会事務局

自薦、他薦を問わず、たくさんのご応募をお待ちしております。

選考結果は、9 月末日までに応募者各位にご連絡いたします。

また、受賞者は、本年 10 月に開催予定の第 31 回研究発表大会で表彰されます。

## 【広報委員会からのお知らせ】

### 【広報委員会委員長 河端瑞貴】

2021 年 12 月 13 日に新学会 Web (<https://www.gisa-japan.org/>) を公開しました。前学会 Web は、初回のリニューアル（2008 年）から 13 年が経ち、暗号化、スマートフォン未対応、情報整理、学会管理・会員システム等の問題が指摘されていました。学会の安全で効果的な情報発信、学会会員のサービス向上、新規会員の獲得等のために、学会 Web のリニューアルを行うこととし、2020 年 6 月からリニューアル作業を開始しました。リニューアル作業を進めていましたところ、2021 年 11 月 7 日、前学会 Web に不正アクセスがありました。調査の結果、前学会 Web で採用していた Movable Type の脆弱性を突かれた可能性が高いことがわかりました。そのため、学会サーバのデータを完全に削除・クリアし、セキュリティを強化した新学会 Web を同年 12 月 13 日に急遽公開しました。古いコンテンツの移行や新会員システムの構築が間に合わず、皆様にご不便やご心配をおかけしましたこと、深くお詫び申し上げます。

新学会 Web では、SSL による暗号化、情報整理を行い、スマートフォン等に対応したレスポンスデザインを採用しました。全体のデザインを新しくしましたが、前学会 Web と同様に、GISA の緑と赤のロゴに合うデザイン、色調としました。

## 【GIS 資格認定協会からのお知らせ】

### 【担当理事 大伴真吾】

地理情報システム学会のホームページリニューアルに伴い、GIS 資格認定協会のホームページも刷新いたしました。一部のコンテンツはまだ整備中ではありますが、新しいコンテンツマネジメントシステムの導入により、更新が容易になりましたので、これまで以上に様々な情報発信を行っていく所存です。

なお、現在、コロナ禍により教育、貢献の機会の減少が生じている状況を考慮し、GIS 上級技術者有効期限が 2020 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日の資格者につきましては有効期限を 1 年間延長する措置を行っております。更新に関するご不明な点は GIS 資格認定協会事務局 ([gisca@gisa-japan.org](mailto:gisca@gisa-japan.org)) までお問い合わせください。

例：

有効期限が 2022 年 4 月 30 日までの方は、2023 年 4 月 30 日まで延長されます。

更新申請は、延長失効前 3 か月の 2023 年 1 月 31 日から、延長失効後 3 か月の 2023 年 7 月 29 日まで受け付けます。



新しい学会 Web トップページ



GIS 資格認定協会 Web トップページ

## 【編集担当からのお知らせ】

### ■ 投稿論文制限ページ数改訂について

【編集担当理事 奥貫圭一】

現在の投稿規定では、原著論文、展望論文の制限ページ数が10ページ、研究・技術ノートの制限ページ数が6ページとされています。学会では、これらを改め、原著論文、展望論文は12ページ、研究・技術ノートは8ページをそれぞれ制限ページ数とする予定です。改訂は、2022年4月以降の投稿原稿から適用し、現在、該当種類の論文を投稿いただいている著者の皆様には、編集委員会から個別にご相談申し上げるつもりであります。

## 【学会からのお知らせ】

### ■新しい会員専用ページについて（重要）

2022年度の会費請求時（3月末を予定）に、新しい会員専用ページ（マイページ）へのログイン方法のご案内を同封します。口座振替を利用しているかたにも3月末に同様にのご案内をお送りします。

4月以降はご自分の情報をご自分で確認、変更することができますが、これまで設定されていたパスワードはリセットされていますのでご注意ください（ログインのうえ、パスワードの再設定が可能です）

なお、2021年度いっぱいでの退会を希望している場合は、必ず事務局までご連絡ください。4月1日から2022年度の年会費が発生します。

### ■2021年度測量CPD学習プログラムポイントについて（既報）

Web上やメールニュースで既にご案内のとおり、今年度の測量CPD学習プログラムポイントの申請を受付中です。3月中に受付けた分については、4月上旬に証明書を郵送の予定です。

申込フォーム：

[https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSf9TzwghQmp\\_hdo7gY57SIVtqoNvP00zJ0T3HxtW7Z0VZ0qNag/viewform](https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSf9TzwghQmp_hdo7gY57SIVtqoNvP00zJ0T3HxtW7Z0VZ0qNag/viewform)

申請期限：2022年3月31日（木）23：59

### ■2022年度一般社団法人地理情報システム学会定時社員総会のご案内

社員総会で議決権を有するのは代議員の方のみですが、他の正会員の方も出席し意見を述べていただくことができます。

日時：2022年5月14日（土）14：45～17：15（途中休憩有）

場所：オンライン開催

代議員以外の方で出席をご希望の方は、5月13日（金）正午までに、事務局までご連絡ください。資料（PDF）をお送りいたします。

### ■日本地球惑星科学連合2022年大会

日程（予定）：

ハイブリッド開催期間：2022年5月22日（日）～27日（金）

会場（予定）：幕張メッセと会場とオンラインの併用

オンラインポスターセッション期間：

2022年5月29日（日）～6月3日（金）

詳しくは… [https://www.jpogu.org/meeting\\_j2022/](https://www.jpogu.org/meeting_j2022/)

なお、当学会関連セッションは以下のとおりです。

#### ●H-CG27「人間の社会活動と地球惑星科学」

口頭セッション：5月24日（火）15：30～17：00

現地ポスター発表：5月24日（火）17：15～18：45

オンラインポスター期間：6月1日（水）11：00～13：00

#### ●H-TT21「地理情報システムと地図・空間表現」

口頭セッション：5月26日（木）13：45～15：15

現地ポスター発表：5月26日（木）17：15～18：45

オンラインポスター期間：6月3日（金）11：00～13：00

#### ●H-TT16「Geographic Information Systems and Cartography」

口頭セッション：5月26日（木）9：00～12：15

現地ポスター発表：5月26日（木）17：15～18：45

オンラインポスター期間：6月3日（金）11：00～13：00

### ■2022年度学術研究発表大会のご案内 《予定》

2022年度地理情報システム学会研究発表大会は、10月29日（土）、30日（日）の両日、開催予定です。（オンライン開催の可能性有）

発表申し込みの手続き方法など詳細は、決まり次第、メールニュースやWebでご案内いたします。

（発表申込スケジュール：予定）

アブストラクト提出：7月1日（金）～7月15日（金）正午

講演論文集用原稿提出：7月1日（金）～8月31日（水）正午

### ■2022年度初等中等教育におけるGISを活用した授業に係る優良事例表彰について（予告）

2022年度も表記の表彰事業を予定しております。募集要項および過去の授賞については、以下のURLでご確認ください。2017年度から、受賞者の許可を得られたものについては、資料を公開しております。

<https://www.gisa-japan.org/awards/post-1.html>

応募期間：2022年7月1日（金）～8月31日（水）17：00必着

表彰（原則各1点以内）：

国土交通大臣賞（総合的な観点）

地理情報システム学会賞（GISの効果的な活用の観点）

日本地図センター賞（地図の効果的な利用の観点）

ESRI ジャパン賞（GISの教育的な利用の観点）

主催：一般社団法人地理情報システム学会

後援（予定）：国土交通省、一般財団法人日本地図センター、

ESRI ジャパン株式会社、

一般社団法人人文地理学会、日本地図学会、

公益社団法人日本地理学会、毎日新聞社

選定された個人またはグループの代表には、本年10月に開催の「第31回地理情報システム学会学術研究発表大会」内で表彰式を執り行うとともに、事例発表もしていただくことを



予定しています。なお、大会が対面で行われる場合、事例発表者の旅費等については主催者側で全部または一部を負担の予定です。

## ■ IAG' i 2022 (International Association of Geo-informatics) (予告)

主催：KAGIS (韓国 GIS 学会)  
会期：2022 年 11 月 3 日 (木) ～5 日 (土)  
場所：韓国 (済州)  
詳しくは決まり次第、ご案内いたします。

## 【学会後援行事等のお知らせ】

## ■ COSIT 2022 (International Conference on Spatial Information Theory) (後援)

主催：COSIT2022 実行委員会  
会期：2022 年 9 月 5 日 (月) ～9 日 (金)  
会場：北野工場のまち (神戸市)  
詳しくは… <http://cosit2022.iniad.org/index.html>

## 【事務局からのお知らせ】

### ■ 会員登録の変更や退会について

異動による郵便物の送付先変更等が生じましたら、事務局までメールにてお知らせください。なお、月末に年会費納入のお願いと共に、新しい会員専用ページについてのログイン方法のご案内を同封します。4 月以降はご自分で確認・変更することが出来るようになりますが、これまでに設定されていたパスワードはリセットされておりますので、ご注意ください。

退会を希望される場合は確認事項がありますので、まずは事務局までご連絡ください。年度は毎年、4 月 1 日から翌年 3 月末日までです。2021 年度末に退会希望の方は、2022 年 3 月末日までに手続き完了が必要です。(2022 年 4 月 1 日から新年度年会費が発生します)

### ■ 2022 年度年会費納入のお願い

年会費納入方法が郵便振込の会員の方々に、2022 年度分 (2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日) 年会費の郵便振込専用紙を発送します。納入期限は 4 月 30 日 (土) ですので、お早めにお手続きください。

年会費は正会員 10,000 円、学生会員 5,000 円です。

期限に遅れますと、6 月発行の『GIS-理論と応用 Vol. 30-No. 1』の送付が停止されるほか、Web ページの会員専用コンテンツの閲覧が出来なくなります。

なお、新年度から年会費の口座振替をご希望の方は、4 月 30 日 (土) までに、事務局に申込用紙をご請求ください。

### ■ 年会費口座振替ご利用の方へのお願い

2022 年度分 (2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日) 年会費の口座引き落とし日は 6 月 27 日 (月) です。口座残高のご確認をお願いいたします。

年会費は正会員 9,000 円、学生会員 4,000 円です。

### ■ 学生会員さんへ 学生証のコピー提出のお願い

4 月以降も学生の方は、新年度に入ってから学生証のコピーを事務局までご提出ください。4 月 30 日 (土) 必着、FAX またはメール添付 (画像ファイルか pdf) でお願いします。学生会員の方には、4 月に入りましてから別途、詳細を連絡いたしますので、必ずメールをご確認ください。

※コピーは「氏名」「発行者」「有効期限」が分かるように取ってください。

※コピーの余白に「学部生」「修士課程」「博士課程」の別を明記してください。

※2021 年度に提出された方も、再度ご提出ください。事務局で確認後、以前のは既にシュレッダー裁断しています。

※学生証が 4 月中に発行されない場合は、その旨、事務局までご連絡ください。

### ■ メールニュースへの掲載ご希望の方へ

学会では個人会員を対象に、メールニュースを配信しています。

内容は学会からのお知らせ、関連イベント、公募情報が主ですが、こちらに掲載をご希望の方は、以下の「お送りいただく情報」をご参照の上、事務局までお申し込み下さい。

(ホームページ上でもご案内しております。)

<http://www.gisa-japan.org/news/request.html?id=02> )

なお、ニュースの配信は、毎月第 2・第 4 金曜日を目安にしています。

＜お送りいただく情報＞

#### イベントの場合

・イベント名 ・URL ・日時 (年は西暦/時間は 24 時間表記)  
・会場名 ・主催

#### お知らせの場合

・タイトル ・URL ・内容は 200 文字程度

#### 公募の場合

公募情報の依頼が出来るのは、賛助会員と教育関係の方だけです。

・タイトル ・概要、分野 ・機関名 ・所属  
・職名 ・URL (詳細情報)

### ■ 会議の場所をご提供します

分科会 (SIG)、委員会、支部など、学会活動に関することでの会議をしたいが場所が無い…という方は、事務局までお申し出ください。事務局が入居している学会センタービルの地下に、貸会議室があります。予約制ですので、お早目にお問い合わせください。

料金：無料

時間：月曜日から金曜日の 10:00～17:00

注意：インターネットのご利用は出来ません

2022 年 2 月末現在の個人会員 1098 名、 賛助会員 50 社

## 賛助会員

朝日航洋(株)、アジア航測(株)、アドソル日進(株)、(株)インフォマティクス、ESRI ジャパン(株)、NEC ソリューションイノベーション(株)、NTT タウンページ(株)、愛媛県土地家屋調査士会、応用技術(株)、大阪土地家屋調査士会、(株)かんこう、関東中部 G 空間情報技術研究会、(財)岐阜県建設研究センター、九州 GIS 技術研究会、近畿北陸 G 空間情報技術研究会、(株)こうそく、国際航業(株)、国土情報開発(株)、(株)古今書院、GIS 支援センター、GIS 総合研究所いばらき、ジェイアール西日本コンサルタンツ(株)、(株)ジオテクノ関西、(株)ゼンリン、玉野総合コンサルタント(株)、中四国 G 空間情報技術研究会、デジタル北海道研究会、東北 G 空間情報技術研究会、(株)ドーン、長野県 G 空間情報技術協会、にいがた GIS 協議会、日本情報経済社会推進協会、日本スーパーマップ(株)、(財)日本測量調査技術協会、(財)日本地図センター、パシフィックコンサルタンツ(株)、(株)パスコ、東日本総合計画(株)、北海道 G 空間情報技術研究会、(株)マップクエスト、(株)マップル、(株)松本コンサルタント、三菱電機(株)、三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング(株)、(財)リモート・センシング技術センター  
自治体会員：経済産業省特許庁、総務省統計局統計研修所、(独)統計センター、長野県環境保全研究所、福岡県直方市

## 学会分科会連絡先一覧

- |  |   |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●自治体：小泉和久（千葉県浦安市）<br/>事務局：青木和人（あおきgis研究所）<br/>Tel：050-5850-3290<br/>E-mail：kazu013057@gmail.com</li> <li>●ビジネス：高阪宏行（地理情報技術研究所）<br/>Tel：03-5379-5601<br/>E-mail：info@georetail.tokyo</li> <li>●防災GIS：畑山満則（京都大学防災研究所）<br/>Tel：0774-38-4333<br/>E-mail：hatayama@imdr.dpri.kyoto-u.ac.jp</li> <li>●地図・空間表現：若林芳樹（東京都立大学）<br/>Tel：042-677-2601<br/>E-mail：wakaba@tmu.ac.jp</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●FOSS4G：Venkatesh Raghavan（大阪市立大学）<br/>連絡先：嘉山陽一（朝日航洋(株)）<br/>Tel：049-244-4032<br/>E-mail：youichi-kayama@aerosahi.co.jp</li> <li>●若手分科会：相尚寿（東京大学）<br/>Tel：04-7136-4302<br/>E-mail：hisaai@csis.u-tokyo.ac.jp</li> <li>●IoTとGIS：厳網林（慶應義塾大学）<br/>Tel：0466-49-3453<br/>E-mail：yan@sfc.keio.ac.jp</li> </ul> |
|--|---|

## 地方支部の連絡先一覧

- |   |   |
|---|---|
| <p>&lt;北海道支部&gt;<br/>支部長：株式会社ドーコン 三好達也<br/>連絡先：NP0 法人 Digital 北海道研究会（内）<br/>Tel：011-299-8104, E-mail：gisahokkaido@dghok.com</p> <p>&lt;東北支部&gt;<br/>支部長：東北大学 井上亮<br/>Tel：022-795-7478, E-mail：rinoue@tohoku.ac.jp</p> <p>&lt;中部支部&gt;<br/>支部長：中部大学 福井弘道<br/>連絡先：杉田暁（中部大学）<br/>Tel：0568-51-9894（内線 5714）<br/>E-mail：satoru@isc.chubu.ac.jp</p> <p>&lt;関西支部&gt;<br/>支部長：大阪工業大学 吉川眞<br/>連絡先：田中一成（大阪工業大学）<br/>Tel：06-6954-4293, E-mail：gisa@civil.oit.ac.jp</p> | <p>&lt;中国支部&gt;<br/>支部長：広島修道大学 川瀬正樹<br/>Tel：082-830-1210, E-mail：kawase@shudo-u.ac.jp</p> <p>&lt;四国支部&gt;<br/>支部長：香川大学 野々村敦子<br/>Tel：087-864-2146, E-mail：nonomura@eng.kagawa-u.ac.jp</p> <p>&lt;九州支部&gt;<br/>支部長：九州大学 三谷泰浩<br/>Tel：092-802-3399, E-mail：gisaku@doc.kyushu-u.ac.jp</p> <p>&lt;沖縄支部&gt;<br/>支部長：琉球大学 町田宗博<br/>E-mail：machida55@grs.u-ryukyu.ac.jp<br/>連絡先：澤岬 直彦（NP0 法人沖縄地理情報システム協議会）<br/>Tel：098-863-7528, E-mail：takushi@nansei-m.co.jp</p> |
|---|---|

### 編集後記 ■

このような時期の責任ある役は、ほんとうにたいへんかと思います。まだもうすこしだけ時間はありますが、会長、おつかれさまでした。これからよろしくお願いいたします。

オンラインでの会議もセミナーも講演会もあたりまえになった世の中で、なにか新しく明るく、世界を変えるようなものがつくれたらいいなと思います。一緒にがんばってきたはずの世界の人々は、また別の暗い世界に引きずりこまれつつあります。

前号からこのニューズレターが Web 仕様になり、少しでも余裕が生まれたと思っていました・・・学会本部 Web の作成（まだ続いています）、委員長をはじめ事務局、関係者のみなさま、おつかれさまでした。（田中）

### 地理情報システム学会ニューズレター

第 121 号 ●発行日 2022 年 3 月 25 日

### ■発行

### 一般社団法人 地理情報システム学会

〒113-0032 東京都文京区弥生 2-4-16 学会センタービル 4 階  
TEL/FAX: 03-5689-7955 E-mail: office@gisa-japan.org  
URL: <http://www.gisa-japan.org/>

### ■ 弥生雑記 ■

日本では真名（漢字）が仮名の上位に位置づけられる時代が長く続いた。だから正史である六国史や御堂関白記や小右記などの日記は、全て漢文である（この時代、日記とは公に、あるいは子孫が備忘に利用する記録のことである。つまり文学史に見える蜻蛉日記や更級日記は無論のこと、あなたの書く日記は、日記の定義に当てはまらない）。朝鮮半島から難破船が流れ着けば、漢字による筆談で状況を説明させ、処置を交渉する（乗員が漢字を解さない場合もあり、その際の右往左往ぶりは国史に興味深い）。時代が下がった明治時代でも、フランスからの独立を模索していたベトナムが日本に加勢を求めて来たとき、双方が意思を伝わせたのは漢文の筆談だったという。長く、漢文こそが学問の正統であった。そういえば 30 年以上も前だが、漢文学者を次々と輩出していた家であって、異なる分野に進んだ老教授が「僕は一族の落ちこぼれで」と自虐していたことを思い出す。しかし…

川の流れのように、正統とされる学問も変わるものだろう。それが興味深い。（学会事務局）